

ひめまの

50

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次

(第五十号)

表紙絵……………根岸久恵

題字……………石川木魚

写真……………写真部・編集部

随想

“戦後五十年 平和で勉強できる幸せ”……………校長 須賀 淳……………1

❖失敗を恐れずに挑戦 (生徒会会長に就任して)……………入江 令子……………4

❖一人一人の力を借りて (任期を終えて思うこと)……………古川ゆかり……………5

特集

21世紀に向かって躍進を……………6

声

創立百周年に向けて……………9

「二十一世紀をひかえて」……………三年 齋藤 恵美
「生教男女共学を目指して」……………三年 小林 奈々
「時代にとり残されぬために」……………三年 木村 太一
「創立百周年に期待する」……………三年 荒井 由起子

「後輩へ贈りたいもの」……………三年 糸川 美紀
「目的に向かって……」……………一年 小野崎 希
「夢を追い求める」……………一年 鈴木 敦子

*心に強く響くもの(校内読書感想文入賞作品)

「忍ぶ川・初夜」……………三年 土田 さおり
「ガラスのうさぎ」……………三年 中山 裕美
「銀河鉄道の夜」……………三年 鈴木 あかね
「『死の医学』への序章」……………二年 鈴木 裕子
「修禪寺物語」……………二年 鈴木 明日香

「高校時代」……………二年 藤田 順和
「アルジャーノンに花束を」……………一年 安齋 有希子
「車輪の下」……………一年 落合 裕子
「友情」……………一年 土田 可奈子

作品集

28

詩

〔三年〕安井 祈・小島由美子 〔二年〕八木 陽一・潮田 幸子・高橋 由佳・水沼 亜衣
戸田 陽子・佐藤 由子・本間悠希子

短歌と俳句

〔三年〕金子 昌代・神山有希子・川本美智子
〔二年〕阿部 裕二・菅谷 竜二・高田進一郎
〔二年〕石川しのぶ・富岡 真由・沼尾真理子・村上 政美・長岡 寿枝・杉山 清美

13

イラスト 〔三年〕 笹沼 奈月 〔二年〕 高橋 英美

☆あとらんだむ

自由作品 〔三年〕 並木まり子・田崎 恭子

〈この一年を顧みて〉

〔田二年〕 菊池 敦生・西川 憲志
〔田一年〕 長谷川信介

コンクール入選作品

〔三年〕 小田島 悠・風間 雅子・神山有希子
〔二年〕 宇賀神多恵

戸関西・四国・大洗・日光の旅

〔三年〕 河津 敬介・土屋 明子・佐藤 有美・加藤 悦子・茂田麻里子・高橋 恵子・熊耳 悦子

小林 奈々・神山有希子・田崎 絵美

〔二年〕 田中 利幸

〔二年〕 落合 裕子

招待席

岡田 一成・伊沢 雪夫・菅野 圭子・和久 誠・朝倉守之助

◆わがホームルームの紹介

◆委員会・クラブ報告

127

67

58

47

35

★学園告知板

附属中コーナー

この一年間のおもな活躍・読書感想文コンクール入賞作品

夏休み自由作文コンクール入賞作品・生徒会活動・他

152

138

◎平成七年度生徒会活動の記録

☒就職状況

174

☒職員住所録

177

☒編集後記

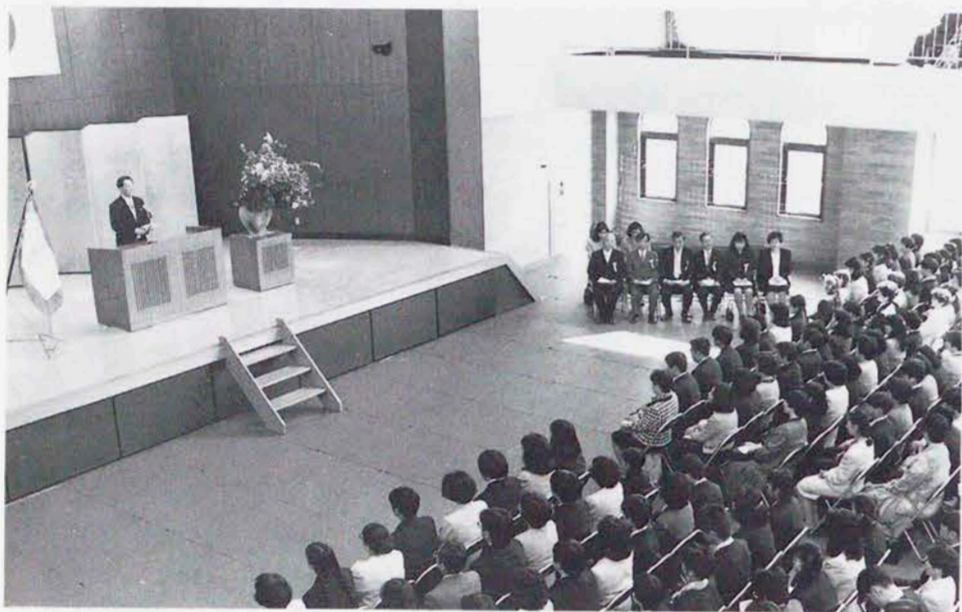
182

166

学園の四季



▲こども校庭のさくらは満開(4月14日)



▲希望に満ちて入学式(4月10日)



▲校長先生の笑顔で新学期スタート(4月8日)



▲思い出をむねに卒業式(3月9日)



北棟の完成図▶



▲本館北棟の礎入式(7月18日)

宇都宮短期大学附属中学・高等学校

校歌

作詩 菅谷徳次郎
作曲 野原幸夫

ふ た ら の た か ね を は る か に あ お ー ぎ
に わ も に し ー げ れ る ひ め ま つ こ ま ー つ

ま な び の み ち す じ ま さ き く あ れ と
か な わ ら ぬ み さ お は ち よ よ ころ す よ と

か た み に ち か い て い そ し み は げ む
か た み に い か い て い そ し み は げ む

お し な び の に わ こ そ げ に と め う た け れ
あ わ れ と め う た こ の ま な び や

校歌

一 二 荒の高嶺を 遙かに仰ぎ
学びの道筋を まさきくあれと
かたみに誓いて いそしみ励む
教への庭こそ げに尊けれ
あわれ尊 この学びや

二 庭面に茂れる 姫松小松
変わらぬ操は 千代万代と
かたみに祝いて いそしみ励む
学びの庭こそ げに芽出度けれ
あわれ芽出度 この学びや

新入生
歓迎会



▲勉強しなくちゃ…と1日入学(3月24日)



恒例の日光スケート教室(昨年1月11日)▶



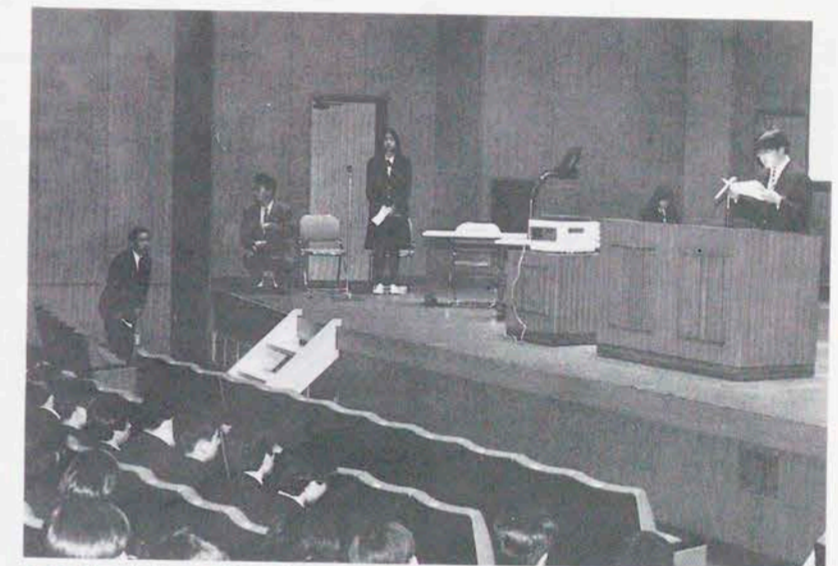
▶にぎわった学校祭(11月5日)



▲先生の手先に真剣な目をそそぐケ作り(昨年2月8日)



分たちの作った作品を披露する生活教養科(4月15日)



▲OHPを使って新入生に説明する情報商業科(4月19日)



▲栄冠はどこに…校内球技大会(7月11日)

▶早く着てみたい振り袖を、と着装講座(11月21日)



手のものの食べ物や飲み物をそろえて調理科(4月21日)



▲しばし幻想の世界へ……音楽科(4月21日)

随想

戦後五十年
平和で勉強できる幸せ



校長 須賀

あつし 淳

三月二日は高校の卒業式です。大学入試もいよいよ大詰めを迎えます。私は、昨年の夏から秋にかけて、県内外の公立中学校で行われた三年生と保護者の方々の高校進学説明会に出席しました。多いときには、一日に三校というハードスケジュールもありましたが、どの学校でも熱心なお父さんやお母さんの顔が見られました。最近では生徒数の減少期に入り、高校入試は「入れる学校」から「入りたい学校」へと変わってきています。栃木県でも、例年県立高校六十九校のうち約三分の一の学校が定員割れをおこなっています。一方、特色ある教育を行っている私学の人気はますます高まっています。本校では、その特色ある教育方針と教育内容による成果と実績が高く評価され、このたび行われた平成八年度の入学試験には、一万二千人を超える多数の入学志願者がありました。そして毎年優秀な生徒の皆さんが入学し



▶イングリッシュアカデミーでの英会話の勉強(オークランド市で7月25日)



ハウィック・カレッジでは日本の歌を披露(マヌカウ市で7月24日)



ニュージーランドからの長旅の疲れを、お茶でいやしていただく(本校で5月13日)
ソロバンに挑戦するハウィック・カレッジ生(本校で5月15日)▶

生徒会役員

- | | | |
|---|---|--|
| 
副会長
齋藤やよい | 
副会長
相川麻里子 | 
会長
入江令子 |
| 
庶務
松本かおり | 
庶務
高松宏子 | 
会計
川部健太郎 |
| 
議長団
仲野乙希 | 
議長団
田村千絵 | 
議長団
岩淵訓子 |
| | | 
議長団
勅使河原隆行 |

ロータリークラブ家族親睦会「野岩線の旅」南会津大内宿にて



宇都宮ヤクルト販売社長 柴田 哲氏撮影

行きました。見学先の大内宿の道端で新鮮な大根を売っていたので、さつそく大きなのを一本買いました。傍にいた俳人でもある宇都宮ヤクルト販売社長の柴田 哲さんが、珍しい光景だとスナップ写真を撮る一枚とってくれました。あとで大きく引き伸ばし、額に入れてくださったのですが、それには次の一句が添えられていました。

大根を男が買って日曜日

たいへん平和な光景ですが、私は大根を肩にかついだ自分の姿を見て、思わず次のような思いが胸にこみあげてきたのです。

銃担う悲しき習性五十年

この平和をいつまでも保ち、次の世代に引き継ぐことは私たちの責任です。皆さんも、この恵まれた時代に感謝して一生懸命勉学に励んでいただきたいと思っています。

て、「私学の時代」に入ったことを示しています。

ところで、大学入試の方は、しばらく続いた「国立離れ」の現象も回復してきたようです。これは経済不況の影響ばかりでなく、国立大学が私立大学に負けてはならじと入試方法の改善などを行って、人気回復を図っているからです。しかしながら、国立、私立いずれにせよ、難関大学の入試は昔から大変だったのですから、一生懸命勉強する以外に途はありません。何事も努力あるのみです。

平成七年は、戦後五十年ということで、テレビやマスコミなどでいろいろな特集がありました。それにつけても、皆さんは日本の国が平和で、毎日学校で勉強できることに感謝しなければなりません。私の五十年前、皆さんと同じ年齢のころは、戦争の真最中で、学校で勉強したくてもできない時代でした。

「死と対決した青春時代」の私たちは、祖国を守るために「ペンを捨てて銃を執った」のです。全国の文科系学生が戦場に赴いた、いわゆる「学徒出陣」です。敗色濃い昭和十八年十月、東京の明治神宮外苑競技場（現在の国立競技場）で、激しい雨のなか銃をかついで行進する第一回出陣学徒壮行会の模様は、戦後もたびたびテレビや雑誌などで紹介されているので、皆さんも見たことがあるでしょう。

私は東大の合格通知を、陸軍の特別甲種幹部候補生として訓練を受けていた軍隊で受け取りました。もちろん晴れの入学式に出席することもありませんでした。大学で勉強できる日は永久にこないであろうと思っていました。

幸いにして戦争が終わり、昭和二十一年四月に大学に復学しましたが、私の同級生の何人かは、生きてふたたび大学に戻ることはありませんでした。同じ年に、東大にもはじめて女子学生の入学が許可されて、戦後の平和な日本、男女平等を実感したものです。

しかしながら、私はいまでも軍隊での厳しく辛い訓練が思い出され、行軍で肩にすしりと食い込んだ銃の重さを忘れることはできません。昨年の秋の一日、宇都宮西ロータリークラブの家族親睦旅行で南会津に

特集

21世紀に向かって躍進を
——創立百周年をひかえて



二十余年に内装外観ともに面目一新の本校

明治三十三年(一九〇〇年)に創設された本学園は、平成十二年(二〇〇〇年)の創立百周年に向かって教育内容の充実、施設設備の整備に全学一致してめざましい躍進をみせています。

昨年(平成七年)は、たまたま創立九十五周年でしたが、ここ十余年間の発展の跡をふり返ってみて、今後なおいっそうの、充実発展をはかるため、心を新たにいたしたいと思えます。

『教育内容』

まず大きなことでは、附属中学校の設置(昭和五十八年四月)がありま

す。中高一貫教育の実績をあげて、その卒業生は毎年、東大、京大、東北大、筑波大などの国立並びに都立大などの公立大学や、有名私立大学に多数の合格者を出しています。

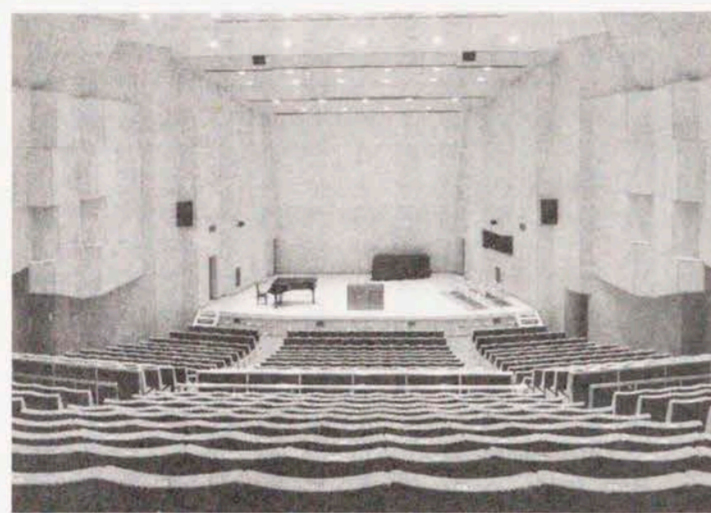
平成八年度からは、この附属中学校に従来の特進コースのほかに総合コースが設けられました。総合コースは、各自の個性や進路に応じて、本校普通科を始め、生活教養科、情報商業科、調理科、音楽科のすべての科に進むことができるものです。

さて、高校では普通科に英進コースが新設され(昭和六十二年)、特進、進学、英進の三コースが整いました。

また、音楽科には同じ年に電子オルガン科を設けて、幅広い音楽教育を行っております。

建築一覧表 (1996. 3. 1現在)

名	称	構 造	完工年月
1	第2体育館(屋上プール)	2階建	昭和59年
2	図書館(図書研究室)	1階建	昭和61年
3	東部部室(売店)	4階建	昭和61年
4	第2職員室	2階建	昭和61年
	(1階印刷室、2階物理室・進学指導室)		
5	第2応接室	1階建	昭和61年
6	須賀栄子記念講堂	4階建	昭和63年
	(1階小ホール、準備室)		
	2~4階大ホール、控室		
7	アートルーム棟	1階建	平成1年
8	5号館(普通教室8室)	4階建	平成2年
9	総合体育館	4階建	平成5年
10	本館北棟(普通教室16室)	4階建	平成8年完成予定



▲音響効果のすばらしい記念講堂大ホール

さらに、家庭科は生活教養科に、商業科は情報商業科と、それぞれ名称を改める(平成元年)とともに、カリキュラムも時代の要請にそって、芸術やワープロ、パソコンなどの授業もとり入れられました。

さらにまた、国際交流がさげばれている現在、そのニーズに応じるために、ニュージーランドのハウィック・カレッジと姉妹校の提携を結びました。

(平成二年)。毎年夏休みを利用して本校から職員生徒による研修団が訪れ、ハウィック・カレッジからも、度々来校して親善交流をはかっているのは皆さんご承知のとおりです。

『施設設備』

整備充実については、第一期工事(第二体育館、東部の部室)第二期工事(図書館、第二職員室、第二応接室、印刷室、物理室、進学指導室)第三期工事(5号館、ワープロ室、コンピュータ室)と三期、約十年間にわたって、それぞれ新築や増改築が行われました。これによって内部、外観ともに面目を一新しました。

それらのうち、主なものについて記してみよう。

第二体育館の新設(昭和五十九年)では、本県で初の屋上プールが併設されていて話題を呼びました。

また図書館、第二職員室(ともに昭和六十一年)、一般教室の5号館(平成二年)のほか、創立九十周年記念事業の一環として須賀栄子記念講堂の完成(昭和六十三年)と新総合体育館が完成(平成五年)し、機能的な数々の設備が、十



▶屋上プールでの校内水泳大会

分に利用されています。

目下、完成間近な本館北棟の一般教室(十六室)は、四月の新学期から使用できる予定です。

さらにまた、アートルーム棟の新設(平成元年)や1号館から4号館までの校舎は、この間に内部外観ともに改装されて、新しく生まれ変わりました。

一方校庭の拡張をはかって、第三グラウンドが建設(平成五年)され、スマーナなクラブハウスとともに、テニス、バスケットボール、バレーボールなどに使用されています。

二十八年ぶりの制服の改正(平成四年)もありました。六月の夏服につづいて翌年四月からは冬服も一新され、気分も一新しました。

きたるべき創立百周年は、まさに二十一世紀の幕明けの前年に当たります。その新しい時代にふさわしく、名実ともにすばらしい学園の実現をめざして私たちは、さらに頑張ろうではありませんか。
(編集部)



▲右から新総合体育館、第2体育館、3号館、本館正面玄関

△声▽ 創立百周年に向けて

二十一世紀をひかえて

三年 齋藤恵美

二十世紀は戦争の世紀だと言われるが、戦争とその後の平和の歩みは、本校の歩みでもある。この期間、現在に至るまで本校はどのように発展してきたのだろうか。

ここ数年の間には、須賀栄子記念講堂、総合体育館が建設され、現在では新校舎の工事が進められている。また、ハウイックカレッジと姉妹校提携を結び国際化社会に対し積極的に取り組むなど、私達の教育及び生活環境がさらに充実してきた。さらにまた各、各コースなどの発展にも目を見張るものがある。

それゆえに、本校の内容・設備や対外活動等においては、創立以来めざま

しい変革を遂げ発展してきたと言えるだろう。

しかし、その一方まだまだ十分とは言えないものも少なくない。

例えば、生徒会を挙げてみよう。現在の生徒会の仕組みでは、生徒の意見が反映されにくい。そこで、生徒会新聞の発行などをして、生徒が関心を持てるような生徒会作りをする必要があると思う。また、クラブ活動においても名ばかりのものがあり、実際に、生徒同志の交流の場が少ないのではない。クラス以外での友好を深めるクラブ活動の活発化が望ましい。

創立百周年は二十世紀最後の年、二千年である。本校は、二十世紀の間、対外的な発展を遂げてきた。残された五年、そして、二十一世紀は内面的な充実を図ることを望み、今後、本校が内面的・対外的共に発展することを期待したい。

生教男女共学を目指して!!

三年 小林奈々

創立九十五年を迎えた本校は、現在五つの科で成り立っています。ほとんどの科は九十五年の間、途中から設立されたのですが、私の学ぶ生活教養科は、創立以来続いてきた最も伝統ある科です。その間、授業内容や科の名称は何度かわり、生徒数も大幅に増えました。しかし、その長い歴史を持つ我が生活教養科が、最近影が薄れた気がしてなりません。その理由の一つに、私は女子だけの科であることが関係していると思います。最近、男子校でも家庭科が必須科目となり、男女平等の社会に近づきました。そして、家庭科を専門に学びたいという男子も増えてきたに違いありません。女性の仕事とされてきた、看護婦や保育が、看護士、保父と呼ばれ男性も大いに活躍しています。それには一般科目よりも生活で役立つ教養が必要なのです。本校で唯一共学でなく、女子だけと

学園告知板

太田教頭に文部大臣賞

本校一筋に尽力四十年

長い間本校にお勤めになつてこられた太田茂雄教頭先生が、私学教育に尽力されたとして、文部大臣表彰を受けられました。おめでとうございます。

昨年十一月二十九日、東京の国立劇場で、全国から集まった百余名の方々と共に、島村宣伸文部大臣から表彰状と銀盃をいただきました。

その後、文部省が用意したバスで皇居に向かい、宮殿内春秋の間で天皇、皇后両陛下にお会いになり、天皇陛下からは「今後ともますます健康に注意して、青少年の教育に励むように」とのお言葉がありました。そして菊の御紋章の入ったお菓子和皇室御一家の写真帳などが下賜されました。



▶須賀校長先生から祝いの記念品を贈られる太田教頭先生(左)

つづいて皇居内の見学に移り、今なお武蔵野のおもかげを残す道灌堀、賢所、水田、桑畑、吹上御苑などを回りました。

なお、太田教頭先生は栃木市皆川のご出身で、昭和三十一年三月宇都宮大学農学部を卒業。と同時に、本校に奉職されました。

それ以来、本校一筋に四十年。文字どおり本校の生き字引であり、多くの卒業生を送り出されました。

めんどろ見のよいお人柄と、明るく、いろいろな反面、涙もろい性格で、皆さんから親しまれ愛されて参りました。

この太田教頭先生の受賞をお祝いしようとして、十二月七日夜、宇都宮ロイヤルホテルで、須賀校長先生ご夫妻はじめ教職員百十名により祝賀会が催されました。

須賀校長先生が太田教頭先生の功績をたたえ、太田教頭先生からお礼の言葉と表彰の様子が報告されました。

そして、須賀校長先生、教職員一同からそれぞれ記念品が贈られ、祝宴に入りました。

的になります。

一位は笹沼さん(三の九)

学校祭の似顔絵コンクール

学校祭で編集委員会(高橋恵子委員長)が行った、第二回私たちの似顔絵コンクールは、大へんな人気を集めました。在校生並びに学校祭に來られた保護者や卒業生の投票で次の入選が決まりました。(カッコ内は作者名)

- 一位 58票 中山 進先生 (三の九笹沼奈月)
 - 二位 56票 辰巳隆一先生 (二の八北西由佳)
 - 三位 28票 宮田能秀先生 (二の九内田有紀)
 - 四位 23票 大谷 武先生 (二の一〇上野 瞳)
 - 四位 21票 大谷 武先生 (二の八北西由佳)
 - 五位 20票 森 幹樹先生 (三の八笹沼奈月)
 - 五位 17票 高橋 登先生 (二の九青木純子)
 - 佳作 金田陽介(二の一〇)ら十八名
- 投票総数五三八票 無効九票

音楽科にも推薦入試

附属中には総合コース新設

アトラクションには各学年や講師先生の合唱、「トリ」には校長先生のカラオケ、さらには出席者全員スクラム組んで四陣をつくり、「本校の第二校歌」ともいふべき「貴様と俺とは同期のさくら、同じ宇短大の庭に咲く」を歌って閉会しました。実にムードがもり上がり楽しい一夜でした。

昨年十二月十二日(音楽科実技のみ)と十三、十四日(全科)に行われた平成八年度推薦入試から、音楽科に初めて推薦入試がとり入れられました。入試科目もソルフェージュと楽典、また、学科試験から数学が除かれ、国語、英語の二教科になり、さらにまた、これまで保護者同伴だった面接も本人だけとなりました。これらは志願者の負担を軽くすると共に、受験機会を増やすためのものです。

こうした配慮もあり今回の推薦入試には全科合わせて一万四百名もの志願者が集まりました。また、附属中学では平成八年度から、

これまでの中高一貫教育の実績に基づいて、コース制をとり、総合コースと特進コースの二つのコースを設けました。

附属中から高校への進学は、中学三年間の成果を踏まえて、自分の希望する本校の普通科の特進、進学、英進の三コースを始め、他の全科いずれにも進めるのが総合コースです。

四月から新校舎使用へ

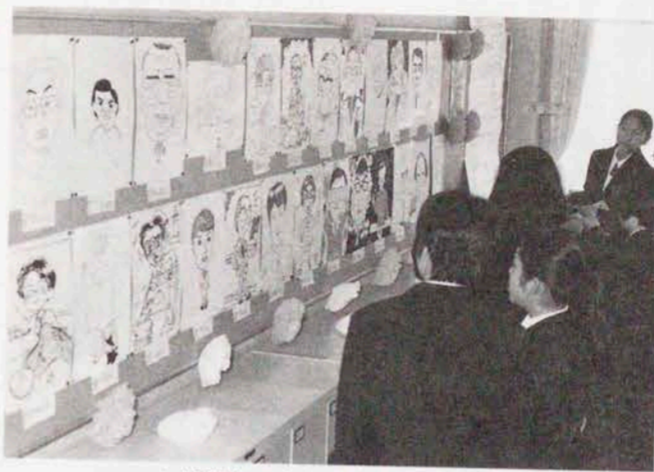
昨年七月に着工した新校舎(図書館西側)の建設工事は順調に進み、いよいよ四月の新学期からは使用できることになりました。

この新校舎は、鉄筋コンクリート(RC造)四階建て、一般普通教室十六室です。外装は吹きつけタイル張り、一部特殊タイルの全室に冷暖房が完備されています。

室内は採光通風を考慮し、とくに各階には広いスペースのトイレが二か所ずつ設けられており、さらに新校舎は本館及び西棟や南棟と西棟廊下側で結ばれ、教室がすべて一体化されて機能

なお、一位に選ばれた中山先生には「すばり賞」、最も多くの生徒のモデルになった宮田先生に「モデル賞」、校長先生の肖像画を描いた前野健太郎君(三の五)に「特別賞」がそれぞれ贈られました。

また、投票者の中から抽選で栃木市の酒巻清子さん(保護者)ら五名の方々にも、記念品が贈られました。



▲好評だった似顔絵コンクール



1位 中山先生
(3-2 笹沼奈月)



2位 辰巳先生
(2-8 北西由佳)



3位 宮田先生
(1-9 内田有紀)

大垣君(調理)が最優秀賞

第八回きのこ料理コンクール
食用きのこの普及を目的とした栃木県と栃木県徳用林産協会共催の第八回きのこ料理コンクールで調理科三年、大垣直巳君が見事に最優秀賞知事賞に選ばれました。

大垣君の作品は、しいたけやひらたけ、まいたけなどを使った「木の子のプリング・フラン ドリームソース」で、六百二十三点の応募作品の中から第一次で八点が選ばれ、さらに厳重な第二次審査の結果、県代表として二月の全国コンクールに出場します。

高文連写真展で

久保田さん準特選

高文連写真部会の写真展は十一月十四日から十八日まで宇都宮市文化会館で開かれました。本校写真部からも多数出品しましたが、生活教科一年久保田忍さんが見事に準特選と佳作(二点)に入選しました。準特選に選ばれた作品は久保田さんが昨年の夏休みに中

薬師寺さん全国大会へ

第三十二回栃木県高等学校「国際理解弁論大会」は九月二十九日足利市で開催され、本校から出場した一年一組、薬師寺 渚さんは「見えない壁」のテーマで二位に入賞しました。栃木県代表として全国大会に出場しました。

お箸セット贈る

生徒会・敬老の日のプレゼント
九月十五日の敬老の日に、生徒会ではお年寄りに恒例のプレゼントとしてお箸セットを贈りました。

これは本校の教職員、生徒の家庭に同居している七十歳以上のお年寄りが対象です。今回は男性三百八十四名、女性六百五十七名の合計千四百一十一名でしたが、たいへん喜ばれて多数お礼状をいただきました。なかには生徒会活動の費用にと多額の資金を贈って下さった方もおりました。

栗野町下永野一〇四八

金山 綾子様より
宇都宮短期大学附属高校生徒会の皆様

此の度はお心のこもったお品を賜り誠に有難う御座居ます。何時迄も大切に使用させていただきます。

私は御校二年調理科金山哲也の祖母でございます。毎朝六時半に元気に出て行く孫の姿を見て、七十六歳の私にも力が湧いてまいります。

素晴らしい先生方と、生徒会の皆様による立派な学校が、今後益々発展されますようお祈りいたします。有難うございました。

氏家町桜野一七二五の三

岩原 芳様

テル 様より

お礼の言葉

敬老の日に夫婦箸を頂き大事に使っております。誠に有難う御座居ました。かんたんですが、先ずは御礼まで

九月十七日

国を訪れた際、紫禁城でとったものでした。
なお準特選の作品は一月に埼玉県で開かれた関東展に出品されました。



▲準特選「営み」
写真部 久保田 忍(1-7)

風間さんが体験発表

平成七年度産業関係高等学校生徒の体験発表会は十一月六日、小山城南高校で行われ、県内各高校から予選を通過した発表者十名が熱弁を振りました。

本校からは調理科三年、風間雅子さんが出場して「女性の調理師を目指して」と題して、自分の体験談を交えて将来の希望を発表し優秀賞を獲得しました。

今市市瀬尾七九一

栗島 照子 様より(七十三歳)

日毎に秋の気配が濃くなつて居りますが、本日敬老の日に当たり、御校生徒会御一同様より心のこもった御手紙にそえて、大変実用性のあるお祝の御箸をいただき誠に有難うございました。

毎日々々大切な命の糧の食物を口に運ぶ長寿の箸として、未長く愛用させて頂き、一日でも多く長生きするよう頑張り度いと思つて居ります。

時あたかもスポーツの秋、勉学の秋、生徒のみなさまも健康に氣をつけて頑張って下さい。

どうも有難度うございました。

九月十五日

壬生町いすみ町二の七

天谷 キン 様より

拝啓

初秋の候と成りました。

先日は敬老の御祝の御品を頂き誠にありがとうございました。生徒会の皆様の老を敬う美しいお心づかいに感謝の気持ちで一杯です。大切に使用させていただきます。

頂きます。しのぎ良い時節です。皆様には一層の勉学にいそむ様お願い申し上げます。末筆ながら諸先生にもよろしく御伝言ください。先ずは乱筆ながら御礼まで

かしこ

二宮町久下田

橋 本 泰 一 様

としゑ 様より

拝啓 健やかな秋の訪れと相成り、貴校益々高等教育の推進にご活躍の由慶賀に存じます。

さて、この度、敬老の日に生徒会の皆さまよりの心温まる贈り物を頂き私共夫婦唯々嬉しく深く感謝申し上げます。

私共は私が大正七年生れの満七十七歳、家内は大正十四年生れで満七十歳、この十一月で結婚五十年になり、最良の年です。

ふり返つて思えば、二人とも戦前に生死をさまよう弾丸や爆撃の下での尊い体験の持ち主です。私自身は昭和十四年早々満州国の関東軍独立守備隊の現役兵として、主として熱河省と河北省の国境である万里の長城線の治安部

隊に入隊しました。

その後約四年間第一線の戦闘部隊として兵役に服し、数多くの戦友を亡くし、その後内地に転属し、宇都宮師団管区司令部勤務で、宇都宮市内の空襲の体験もあります。

終戦後は地元役場に奉職し、三十三年余勤務しました。退職後は在職中にご指導を得て中央官庁の外郭団体に協力し、主として東南アジアと中国の人々と経済方面の指導助言など国際協力の仕事を手伝わさせていただきました。終戦後、母の勧めで、一度会っただけの相手と結婚、今日まで五十年間お互いに青少年時代の尊い体験を生かして相互扶助のもと、尊敬の心で生き続けております。今は二人の子供たちもそれぞれ自活しており、孫たちの成長を楽しみにしている毎日です。

現在平和で不自由のない日々ですが、世界は大きく変わり複雑な政情の中で油断が許されません。私たち日本人は、しっかりと精神のもと、日本人らしさを忘れず、世界人類の平和を基調として友愛協力に一層の力添えを

必要とされましよう。

どうか生徒の皆さんも次代を担う日本人として諸先生方のご指導のもとに立派に成長されますよう心から念じ、ご健勝をお祈り申し上げます。お礼といたします。

九月十六日

大平町伯仲一七三二

荒井 見吉 様

千代 様より

暑い夏もすぎ、朝夕しのぎやすい季節となりました。

此の度は敬老の日のお祝を頂きまして有りがとうございました。

二人そろつてお祝いして頂きますことを、何よりもうれしく幸せに思います。

お若い方々の、やさしいお気持ちに接し、只々有りがたく感謝いたしております。

家族と一緒に、一日一日を大切に、そして感謝を忘れることなく、心豊かに日々を送る事ができます様心がけておられます。

みなさまもどうぞ、お体お大切にそ

して毎日毎日をたのしく、明るく送られます様お祈り申し上げます。

本当に有りがとうございました。

乱筆ながらお礼まで。

敬具

西方町大字元二の六

松島 九郎 様

スミ 様より

拝啓

朝夕大変しのぎよい気候になりました。生徒会の皆様お元気に勉学及びスポーツにおはげみの事と推察いたします。

此の度は敬老の日の記念にと、何よりの品を頂き誠にありがとうございました。早速使わせていただきます。

小生は一九一九年、妻は一九二一年生れで共に元気に過ごしております。これも皆様方の御支援と感謝いたしております。これからも身体に注意して、一日でも永く生きたいと思っております。

皆様方もお元気で過ごして下さい。生徒会の今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

壬生町幸町

村井 邦行 様

静枝 様より

この度は真心のこもった敬老の品頂戴誠に有難うございます。早速使用させていただきます。

九月十七日

追伸

少々ですが、お礼のしるしに同封しましたので生徒会の費用にでもお使い下さい。

宇都宮市末広一〇一〇六

竹川 一郎 様

寿々子 様より

前略御免下さい。

この度、生徒会の皆さんから敬老の日のお祝いに、私共敬老者に心のこもった大変結構な品物を頂戴致しまして誠に有難うございました。心から厚く御礼申し上げます。

生徒会の皆さんの心やさしい暖かなお気持ちに只々嬉しく頭の下がる思いで一ぱいでございます。心から感謝申し上げます。喜んで使わせていただきます。でも、もったいない気持ちです。

どうか生徒会の皆さん伝統ある校風、恵まれた環境のもと、名誉ある学校のため、立派な先生方の教えを守り勉学に励まれますようお願い申し上げます。

最後に生徒会の益々の発展を心から祈り、お礼の言葉と致します。

宇都宮市二荒町一の十五

篠崎 孝一様

静子様より

近年にない暑さも終り、そここにはコスモスが可憐に咲きはじめている季節になりました。

月日の流れは早く、今年も敬老の日を迎えました。いまだ力足らずで社会のために何のお役にたった事があるうか、と恥ずかしく思っておりますが、この度敬老の日に孫からすばらしい賜り物を手渡され、学校長先生はじめ生徒会の皆様のお心づくし、本当に有難うございました。

益々健康に注意し、人と生れた喜びに感謝しながら頑張るつもりです。皆様の御健康をお祈り申し上げます。

平成七年九月十五日

鹿沼市西沢町西二一の九

山本 サク様より

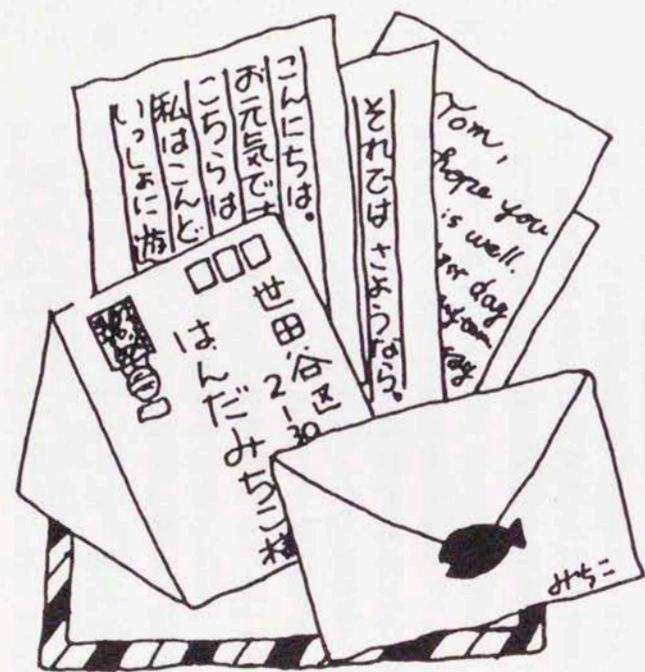
前略、ごめんなさいませ。

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会の皆様には、心身共に元気で勉学にお励みの事と存じます。

此の度敬老の日の記念にと、お祝いのお箸セットをお贈り下さいます。生徒さまお一人お一人のお心づくしに、ありがた、ぬくもりを感じ涙のじむ思いでございました。

大切に大切に保存させて頂きます。皆様は来る二十一世紀を担うすばらしい若人です。誇りを持って大きな希望を抱き、明るく楽しく健全な青春を頑張ってお過ごし下さいますよう心よりお祈り申し上げます。

九月十五日



平成七年敬老の日に

鹿沼市府所一五〇の二二

宇賀神 テル様より

ひと雨ごとに秋めいて参りました。日ごろ孫の藍子が、諸先生方のお世話になりまして誠に有難く感謝いたしております。

先日も、座敷においてあった可愛い子供服、きれいに縫い上がり嬉しくなりました。

また昨日は敬老の日で、お心づくしの贈り物を頂戴いたし有難うございました。早速使わせていただきます。

今日は台風十二号が接近とかでこの頃はつきりしない天気です。急に涼しく肌寒い陽気になりました。たいしたことなく台風もすきてくれればよいと願っております。

先ずは御礼まで申し上げます。みな様の御活躍ご多幸を祈り上げます。

九月十六日

宇都宮市下川俣町一四の七

松本 英一様

キサ様より

拝啓

新秋の候、皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度は私達夫妻に対し敬老の日のお祝いとして記念品をお贈り頂き拝受いたしました。誠に有難うございました。これから皆様の心のこもった贈り物として愛用させていただきます。

とりあえず右御礼方々御挨拶まで
敬具

宇都宮市中央五十六一十四

永井 敏雄様

さわ様より

謹啓

初秋の候、本日敬老の日にあたり、私共に対し、ご丁寧なるご祝辞を頂き、また温情溢れるお箸セットをお贈り下さりまして、まことに有難く、感謝感激、心から厚く御礼申し上げます。

私共これからも一層健康に留意し、元気に過して参りたいと存じますので、今後共よろしく願ひいたします。

生徒会一同様の一層のご発展を祈念し、お礼の言葉といたします。有難うございました。

校史と校章

平成7年は本校の創立95周年にあたりました。いよいよあと5年後には、大きな1つの節目である100周年を迎えます。

創立者、須賀栄子先生は、女子に最も適切な技芸を教授し、その時代と境遇に順応すべき実際の婦人の養成を教育の主旨とし、共和裁縫教習所から、共和裁縫女学校、宇都宮須賀女学校、宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、発展させてゆかれました。その後を須賀友正先生が受け継がれ、学制改革により、宇都宮須賀高等学校となり、さらに、宇都宮短期大学を設置し、高校も宇都宮短期大学附属高校と改名されました。友正先生の後を受け継がれたのが、現校長先生でいらっしゃる須賀 淳先生です。先生は宇都宮短期大学附属中学校を設置し、ますます学校を発展させて、現在に至っております。

我が校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、生徒一人一人が、それぞれに、本校生徒としての価値を知り、その価値を自覚することこそ、人間の大きな喜びであり、幸福への素材であるとし、学校はそのあり方を勉強する場であるというのが、須賀栄子先生のお考えです。私たちは現在、この言葉を胸に、本校生徒としての価値を認識し、生活しています。

本校には、現在に至るまで、いくつかの校章がありました。現在使われている校章の由来は、創立者須賀家の祖先が武士の旗印として使っていた、「ス」の文字を3つ組み合わせたものです。

「ひめまつ」第五十号（非売品）
平成八年三月一日印刷発行

宇都宮市睦町一番三五号

宇都宮短期大学附属高等学校

編集人 顧問 和久 誠

発行人 生徒会長 入江 令子

印刷所 宇都宮市鶴田町二三五九の一

ヤマゼン印刷株式会社

〇二八(六四〇)一一一

印刷人 山本 征一郎

発行所 宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

〒320 TEL〇二八(六三四)四一六一(三番)